

事務事業評価表（平成26年度）

事業コード	2086	課コード	0401	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策 □経常 □なし
-------	------	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)												
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	ピコ水力発電装置設置		実施計画への位置づけ	○有 ○無		②部課名	環境経済部・手賀沼課			
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 ■湖北 □新木 □布佐 □全市						
	⑤事業期間	平成26年度 ~			⑥担当職員数	0人 (換算人数)		0人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	113千円		当該(開始)年度	(当初)	113千円 (うち人件費 0千円)					
	⑧施策の位置づけ	施策コード	12101	重点プロジェクトへの位置づけ	重点1	基本計画地区別計画への位置づけ	●有 ○無		部門別計画への位置づけ (計画名)			
(2) 目的	施策目的・展開方向	地球温暖化の原因となる温室効果ガス量を削減するため、「市民・事業者への環境配慮指針」の普及や学校での環境教育などを通して、市民や事業者への意識啓発を図り、電気や燃料使用量の削減などの省エネルギーの取り組みを推進します。また、住宅用太陽光発電システムへの助成などによって、一般家庭での自然工谷津小屋前の中央排水路にピコ水力発電装置の設置			事業目的	自然エネルギーは太陽光、バイオマス、小水力などがある中で、24H発電できる水資源を利用して、電気を発電する。谷津小屋への供給を行う。						
(3) 事業内容	内容				当該年度執行計画	谷津小屋前の中央排水路にピコ水力発電装置の設置						
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				指標種類	指標	単位	数	想定値	実績値		
当該(開始)年度	ピコ水力発電により自然エネルギーを利用して、環境負荷軽減を図る。				直接	年間発電量	wh	0	0	1,080		
3年後	ピコ水力発電により自然エネルギーを利用して、環境負荷軽減を図る。				直接	年間発電量	wh	0	0	1,080		
最終(概ね5年後)	ピコ水力発電により自然エネルギーを利用して、環境負荷軽減を図る。				直接	年間発電量	wh	0	0	1,080		
(7) 事業実施上の課題と対応	発電に関し、台風時や大雨時により増水した場合は、装置自体を引き上げる必要がある。				代替案検討	○有 ●無						
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度				
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)		
					*	ピコ水力発電備購入費	113	*	保守・点検	11	保守・点検	11
		予算(済)額	合計	0	合計	113	合計	11	合計	11		
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0			
	県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0			
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0			
	一般財源		0		56		11		11			
	その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 ■その他	57	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0			
(10) 人件費等	換算人数(人)	0		0		0		0				
	正職員人件費	0		0		0		0				
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0				
	臨時職員賃金額	0		0		0		0				
	事業費(予算(済)額+正職員人件費)	0		113		11		11				
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	0千円/**		113千円/数									

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	太陽光発電だけでなく、水力を使って自然エネルギーを発生させ、環境負荷軽減を図る。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ●②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる ■市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	■①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している ■④環境負荷軽減に貢献している □⑤その他 <その他の内容>		自然エネルギーを利用したピコ水力発電により、環境負荷軽減を図る。				○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (wh)	目標値(b) (wh)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要
	0	1,080	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f) (wh) 達成率(%) (f/b×100)		<目標を達成した理由/未達成となった原因>		○要 ○不要
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ○不要
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託 <削減の内容>		実績値(g) (千円) 対事業費(%) (g/c)×100		○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ○不要
	事業費削減率(%)				<超過理由等>				○要 ○不要
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ○不要
	955.75	単位 wh 費用単位 10万円	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h) 対目標値(%) (h/e)×100		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		○要 ○不要

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					